

## 唱歌遊戯

### 第一週

#### 唱歌 二回

長い夏休みの後ではあるし、幼稚園生活にもまだあまり慣れなかつた頃に歌つた歌は忘れてしまつたのも澤山あるだらう。一つくを思ひ出しながらみんなで歌つて見やう。

#### 砂のトンネル(大正幼年唱歌)

可愛いこの歌詞を黑板に書いておく。

曲の第一音が高いので、最初は案外歌ひ難い様に思はれる。さならない様に、小さな聲で歌ふ様にすれば、樂にきれいに歌へる。

#### 遊戯 三回

夏休みが過ぎて楽しい幼稚園が始り、四月に入園した子供たちも、急にお兄さんお姉さんになつた様な氣持で、ぐつみ自分たちの力を發揮して來る。

さうく夏休みまで遊戯の仲間に入れなかつた子、スキップ

プだけするのがいやだき云つてゐた子なきを遊戯の仲間  
に引き入れるのには、このよい機會を見逃がさない様に。  
砂のトンネル(記事参照)

### 第二週

#### 唱歌 三回

オサル(エホンシヤウカ)

ヒヨコ(エホンシヤウカ)

可愛らしいヒヨコを想像しながら、可愛らしい氣持で歌  
いたい。やさしいのですぐに覺えられる。

#### 遊戯 三回

オサル(記事参照)

實際に子供にやらせて見るに、年少組では初めの「オサル  
ノコードモハオニゴッコ、エダカラエダヘトビマハル」の所  
は、記事の通りでは六ヶ敷くてごちやくになつてしま  
ふ。色々考へて見たが、最も簡単な方法を以て、皆右を  
向きスキップで喜んで行く様にして見た。年長組だつた

## 第三週

## 唱歌 二回

## 蓮の花(幼稚園唱歌)

が、子供たちにこのオサルの振りを好きな様に考へてして御覽なさいといつてさせて見た事があつたが、

「オサルノコドモハオニゴッコ」

の所は隣りの子供の肩を打つて逃げ出した。

「エダカラエダヘトビマハル」

こゝは皆が申し合せた様に、両手を使って木登りの様子を表はしてゐた。

なか／＼面白い表現だと思ふ。これはほんの一例に過ぎないが、簡単な歌で表現しやすいものを、子供たちに振付けさせて見るに随分面白い。私たちのよい参考にもなる。

ヒヨコ(記事参照)

ヒヨコお母さんに分れてするのであるが、ヒヨコになつたものは、必ずこうしなければならぬ云ふ型はない。「ヒヨコガニハデビヨビヨ／＼／＼」の所は自由にヒヨコを表現して歩き、「オナカガスイタトビヨビヨビヨ／＼／＼」はさも／＼お腹がすいた云ふ様子をしながら、或る者は両手で、お腹をおさへ、或る者は片手を後へ伸ばしてお尻尾を表はし、片手でお腹をおさへながら歩く等、子供の自由表現にまかす。

## 遊戯 四回

これは古い歌ではあるけれど、いゝものはいつ歌つてもいゝと思ふ。だれない様に、軽快な気分ですしテンポを早めて歌つた方がよい。

運動會も近づいて來るので、殊に年少組は少し早い目に用意をして、練習の機會を多くしなければならぬ。押しせまつてから大慌に詰込まない様に心用意が必要である。運動會の遊戯には、オサル、ヒヨコ、蓮の花の三つをする事にした。

## 蓮の花(記事参照)

全體を通じて軽やかに取扱ふこと。

運動會用としては、広い場所で見ると個人々々の細かい動作よりも、全體的の大きな動きのあるものゝ方がきれいに見える。

この蓮の花は、全體が一つの花になつて、すばんだり開いたりして大きく動作をするので、きれいに見える。

ルネントニマヤオ イカタイカタ タキデガマヤオ ラガラザ ナスンギ  
 テイヌリク テケアリモ



砂のトンネル

一ゴ一ゴ一ヒ

ガヤシキノヤチモオ



かけっこ(競争)。

今までも自由遊びの中にかけてっこをして遊んで居たけれど、運動會で  
 するについて、スタートの時とか其の他色々な注意をしながら、度々さ  
 せて見る。

砂のトンネル

戸倉ハル氏振付  
 大正幼年唱歌

準備 二人づゝ向ひ合ひに組み一組となり圓形を作る。二組即ち四人を

豫め一組としてきめておく。

ギンスナサラサラモリアゲテ

二人互に向ひ合つてしやがみ、両手にて砂を盛り上げ山を作る動作を

四回行ふ。

オヤマガデキタ

二人共向ひ合つたまゝ立ち上りそのまゝ両手をつなぐ、右手ミ相手の

左手、左手ミ相手の右手、さいふ様に。

タカイタカイ

お互につないだ手をそのまゝ次第に上に高く上げる

オヤマニトンネル

一方の手だけはなし、一方のつないでゐる手は高くあげその中を二人

がくぐる。

クリヌイテ

今度は前ミ反対の手を高くあげ、その中をくぐる。

オモチヤノキシヤガ

豫めきめておいた一組四人の中一方の組は、二人が前後に並び後の者は

砂のトンネル

♩=88

さんすな さらさら もりあげ て  
 おやまか できた たかい たかい  
 おやまに トンネル くりぬい て  
 おもちゃの ましやを ビーゴ—ゴ—

五四

前の者の肩に軽く手をのせ、前の者は手を腰の所にひろげ車を作る、他の一方の組は、二人が向ひ合つたまゝ手を高くさり、トンネルを作る。  
**ビーゴ—ゴ—**  
 そのトンネルの中を汽車になつた組が通りぬけ、トンネルの先に、互に向ひ合つた位置につく。

オサル

以上は二回か三回くりかへして行ふ。トンネルになる組ミ汽車になる組は、その度毎に交代するこゝになる。

オサル 戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

準備 二人つゝになり、一列圓形を作る

オサルノコドモハ

二人つゝ組むだうちの右の者はスキップで左の者の前を通り、左の者の左隣りに来る、この時左の者はそのまま、自分の位置に立つてゐる。

オニゴッコ

今度はいまゝで動かす立つてゐた左の者は、(但し位置が變つたから實際は右になつてゐるが)自分の相手の前をスキップで通り、相手の隣りに来る、その間一方の者はそのまま立つてゐる。

エダカラエダへ

オサルノコドモハミ同じ。

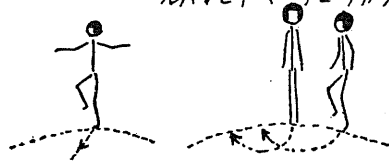
トビマハル

オニゴッコミ同じ。

オサルノカアサン

皆圓心に向ひ、お互の肩に両手をのせて歩く。

オサルノコドモハミ同じ。オニゴッコミ同じ。トビマハル。エダカラエダへ。オサルノカアサン。皆圓心に向ひ、お互の肩に両手をのせて歩く。



オサル

The musical score is written in 2/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It consists of five systems, each with a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are written below the vocal line.

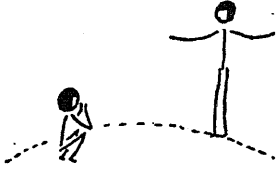
System 1:  
Vocal: オサルノ コドモハ オニゴツ  
Piano: Accompaniment for the first system.

System 2:  
Vocal: エタカラ エタヘ トビマハ ル  
Piano: Accompaniment for the second system.

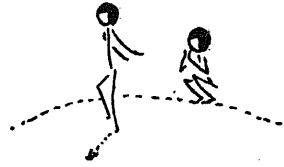
System 3:  
Vocal: オサルノ カサ サン ヒナタ ホッコ  
Piano: Accompaniment for the third system.

System 4:  
Vocal: コツクリ コツクリ キネムリ ヨ  
Piano: Accompaniment for the fourth system.

コツコツコンサアカノコヨヒ



デハニガコヨヒ  
ヨヒヨヒヨヒヨヒヨヒヨヒ



ヒヨコ

### ヒナタボッコ

そのまゝそこに踞む

コックリコックリ井ネムリヨ

るねむりをする。

### 間奏

間奏として、オサルノコドモハオニゴッコまでを弾く、その間、皆、元の圓周の位置にもどる、そして又ははじめからする、こうして一回か三回くりかへして行ふ。

ヒヨコ 戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

準備 二人づゝ組み、一列圓形を作る。

ヒヨコガニハデヒヨヒヨヒヨヒヨヒヨ

二人の中一方が母ざり一方がヒヨコミきめ、ヒヨコは両手を羽にして後にのばし、圓の中を自由に歩く、母ざりはそのまゝの位置でしやがむで拍手する。

ヒヨコノカアサンコツコツコ

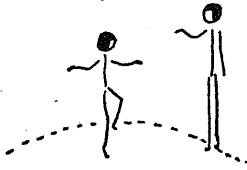
ヒヨコは圓の内の勝手な場所にしやがみ、拍手する。母ざりは立つて両手を左右にひろげ、はがひをひろげた様子をし、コツコツコミ、頸を右、左、右に動かす。

オナカガスイタトヒヨヒヨヒヨヒヨヒヨ

母ざりは、しやがみ拍手、ヒヨコは圓の中を自由に歩く、両手をお腹にあてたりして、

コッコッコトヨベタヲンハコ

トタイスガカナオ  
ヨビヨビヨビヨビヨビヨビ



お腹のすいた様  
子をし乍ら歩  
く。  
ゴハンヲタベヨト  
コッコッコ  
母ぎりは立つて  
片手をさしのべ  
てヒヨコを呼ぶ  
様にする。ヒヨ  
コはスキップで  
母ぎりのところ  
へ歸つて来る。  
次に母ぎりにヒヨ  
コミ代つて、も一  
度行ふよよい。

ヒヨコ

ヒヨコカ ニハテ ビヨビヨ ビヨビヨ

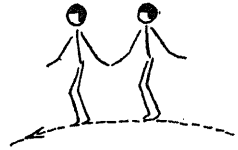
ヒヨコノカサカン コッコッコ オナーカカ スイタト

ビヨビヨ ビヨビヨ ゴハンヲタベヨト コッコッコ



蓮の花

タイラヒ タイラヒ  
イラヒガナハノンナ



タイラヒガナハノゲンレ



ヲツモオトタイラヒ



蓮の花 戸倉ハル氏振付  
幼稚園唱歌

準備 圓形を作る。

ヒライタヒライタナンノハナガヒライタ

皆手をつなぎ軽いかけあしで右の方に行く。

レンゲノハナガヒライタ

両手で花の形を作り乍ら自分のまはりを右からまはる。

ヒライタトオモツタラ

やはり両手花を作つたまゝ左から自分のまはりをまはる。

イツノマニカツボンダ

手をつなぎ圓心に向ひ軽いかけあしで進む最後にそこにしやがむ。

ツボンダツボンダナンノハナガツボンダ

しやがむだまゝ歌に合はせて拍手する、掌を上下に合はせて右掌を上、左掌を上

ダンボツガ+ハ+ゲンレ



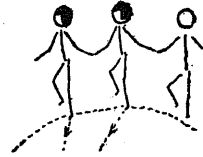
ダンボツダンボツ  
ダンボツガ+ハ+ンナ



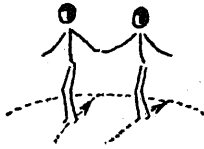
ダ



ンボツカ=マ+ツイ



タイラヒカ=マ+ツイ



ラツツモオ



トダンボツ



に重ねたり、手をつつゝかへし乍ら拍手する。

レンゲノハナガツボンダ

両手で花の形を頭上高く作り乍ら立つ。

ツボンダト

花を作つたまゝしやがむ。

オモツタラ

花を作つたまゝ立つ。

イツノマニカヒライタ

手をこりかけあしで後にさがり元の圓周の位置に戻る

これを何回もくりかへして行ふ。